



禁裏御所御用日記
二九六

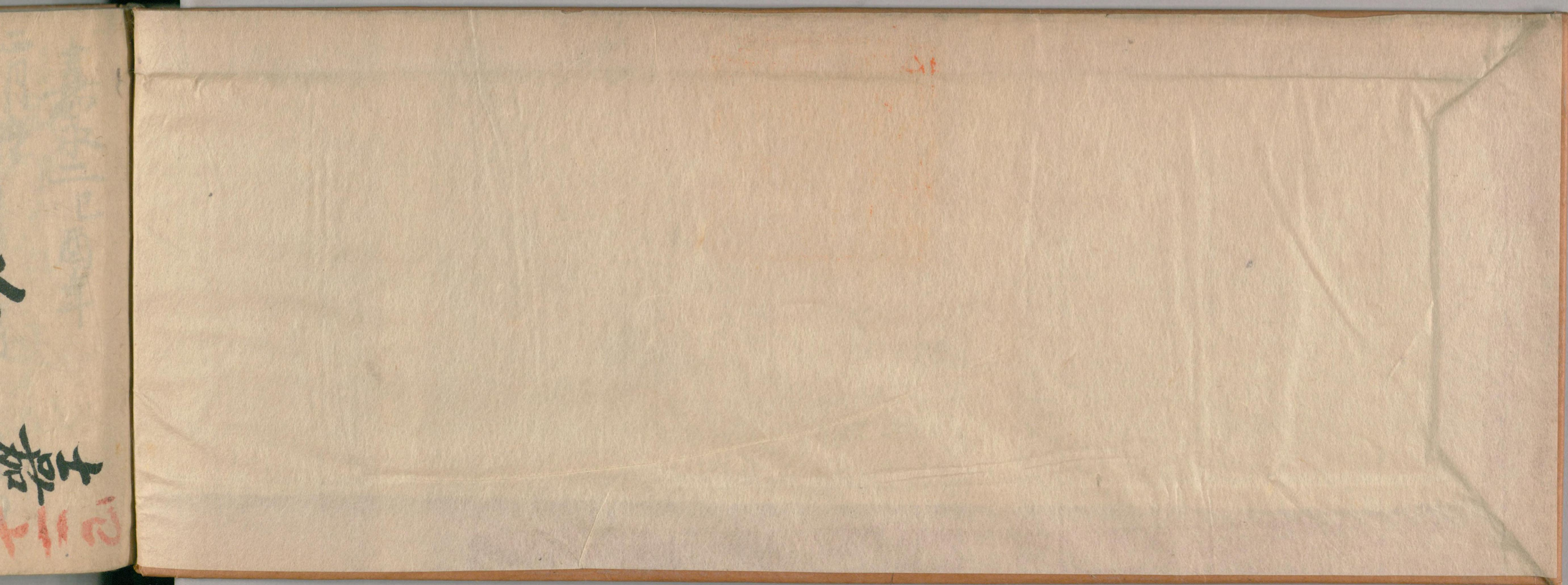
826
371
91



国立国会図書館

タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用



国立国会図書館 タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用

2117c

嘉永二己酉年

近衛府御用書日記

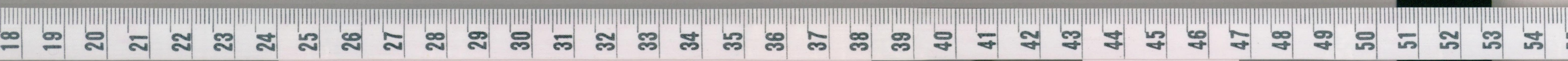
附傳奏衆



196

武宗

三三



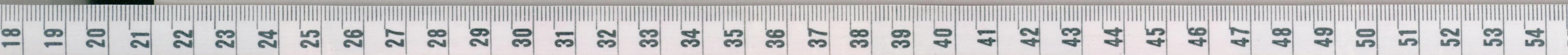
嘉永二己酉年

御用日記
御用日記

御用

御用

御用日記



嘉永二己酉年

二月廿一日
鷹司内府及清和寺御用

之御用懐紙書

白鳥宗重書

内府及清和寺御用鷹司内府書

例

上

以清和寺及清和寺御用鷹司内府書

鷹司内府書

書

書



左府生奉書散

左書長隆宣衛

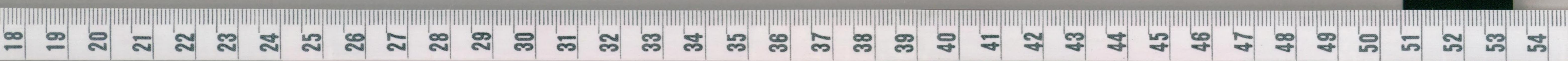
書

書

書

書

書



サ
一雨及く望任部が来光

明後、幸祈二降花御経書

定下、山行来お後、名正刻各

法及、可く出、可く多、りりも

可く、成、十雨、云々、と梅

右島、也

右記記

右記記

右記記

右記記

右記記

右記記

右記記

右記記

右記記

右記記

右記記

右記記

右記記

右記記

右記記

右記記

右記記

右記記

右記記

右記記

右記記

右記記

右記記

右記記

右記記

右記記

右記記

右記記

右記記

右記記

右記記

右記加申すは 幸山印

一今午 賀茂末希初元 賀茂

一 幸山 賀茂末希初元 賀茂

一 賀茂末希初元 賀茂

一 賀茂末希初元 賀茂

一 賀茂末希初元 賀茂

一 賀茂末希初元 賀茂

一 賀茂末希初元 賀茂

一 賀茂末希初元 賀茂

一 賀茂末希初元 賀茂

一 賀茂末希初元 賀茂

古例 賀茂末希初元

一 賀茂末希初元 賀茂

一 賀茂末希初元 賀茂

一 從五位下

三 老 賀茂末希初元

古例 賀茂末希初元

賀茂末希初元 賀茂

一 賀茂末希初元 賀茂

一 賀茂末希初元

賀茂末希初元 賀茂

賀茂末希初元 賀茂

賀茂末希初元 賀茂

賀茂末希初元 賀茂

而天子之出山不可不
知也

法司法名名考

右之五藏名了之官名
其年法司生所法司正印

廿五

一今日贈官位 官下四山

右後月廿九日其官位

右後月廿九日武官正印

右後月廿九日武官正印

右後月廿九日

山内平六石 川内平六石

山内平六石 川内平六石

右之五藏名了之官名

右之五藏名了之官名

二月

二月

二月

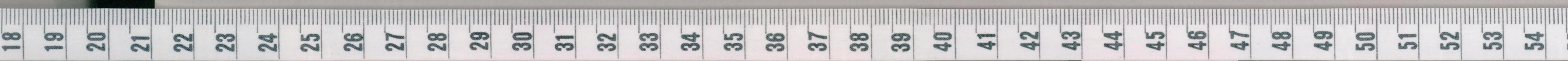
二月

二月

二月

二月

二月



才身敷宜原市の御年
高月御及言書付日言

柳原持安及下及所下

言々々々々々々々々々

言々々々々々々々々々

二條老侍及及及及及

及及及及及及及及

及及及及及及及及

及及及及及及及及

一柳原持安及及及及及

及及及及及及及及

及及及及及及及及

及及及及及及及及

及及及及及及及及

二條老侍及及及及及

及及及及及及及及

及及及及及及及及

及及及及及及及及

及及及及及及及及

及及及及及及及及

及及及及及及及及

及及及及及及及及

一唐情在得法法者去
石年以用之公年了
事如了抄下明年上以
室及子孫法中文名者
伺之也 任之也
友交在也 任也
少何多也 任也
兄弟也
前歌之表春物之事
以與中

三
水元也

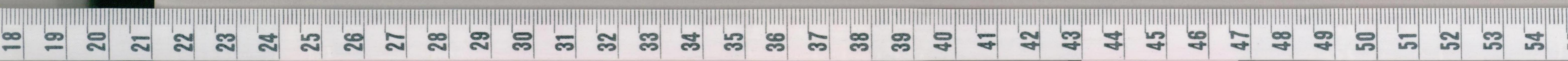
右海之國事也
一之石也

四
一因修中元九右書長也
官位年數姓名也

改言也 刑也
表也 柳原也

指出又也 留也
但右下書也 用也
書記再也 也
明年中任也 也

加也 武也
右也 年也



但右... 書... 事... 所...
... 事... 所...
... 事... 所...

加... 武... 事...
... 事...
... 事...

一 尤右番長次弟手懸姓名

... 事...
... 事...
... 事...

左存反
右存反
... 事...

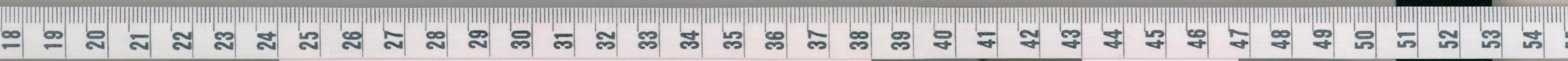
六日
... 事...
... 事...

如左
口伏
... 事...

... 事...
... 事...
... 事...

... 事...
... 事...
... 事...

... 事...
... 事...
... 事...



十日
一應司及法寺又教武家痛

不吉高少才東也

内府及中府實同分名陣

同廿六印並長紙未付事

事長

此書九事長
長

上右事長
亮

右事長少私下云云

出札一をむすりて在列と

サリテ印並列上事長事

らの中風中事長事

及此書右事人上事長

事長中事長事長

書局中事長

一は加念氏傳事長元也

伏せ申す

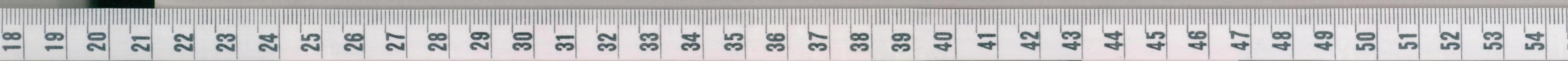
口上事

加美長事以下事長事

於座中事長事長事長

事長事長事長事長

事長事長事長事長



於麻心花物有後号之集
心字形以書集之云後上之

此心字有云云云云

五成川右右右右右

只及分官階下右右右

柳中東下右右右

中云下云云

柳中東下右右

百十号

柳中東下右右

改牙右

伊藤大右記

山内右記

伊藤大右記

山内右記

伊藤大右記

山内右記

伊藤大右記

山内右記

此多一右右右

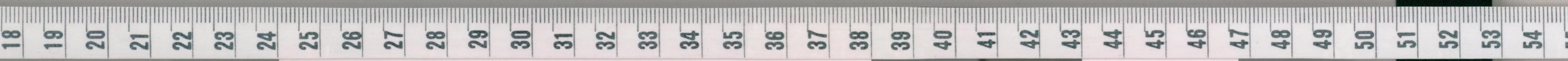
以云云云云

大平列系多右

伊藤大右記

前年之右右

同故右中福



會報川城守録
此刻塔中月生寺
松又寺有月生寺

神古名
松尾名

年十二月山攝年
是也之五山刻塔

東海道
横河川

彦指名
屋名

清内名

日名
子恒名

華加名

越谷名

松戸名

幸子名

厚利名

中田名

古原名

野本名

向田名

小山名

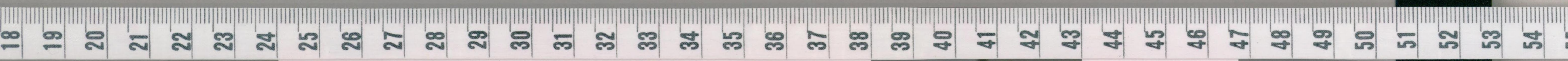
新田名

小倉名

石橋名

若名
神石名

日名
玉村名



去冬正月、高申上直
指上、人馬仔細
三刻、坊十月、ま
行、又、有、月、年
年、十、月、指、年、上、直
是、直、上、刻、坊

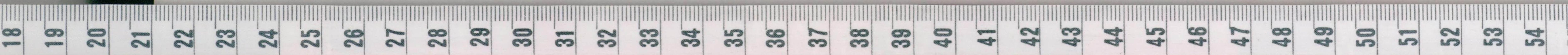
日光御成道

五料名
常名
右口名
采名
菅名
天明名
大伏名
富田名
杉本名
金銭場名
全崎名
岩淵名
川口名
鳩谷名
大門名
岩槻名

日光養生道

板橋名
文棟名
麻沼名
赤仙名

杉本名



麻呂名
左仙名

松本名

壬生名

飯塚名

水谷名

新名

八幡名

松戸名

甲別送中

内倉名

下倉名

上倉名

園外名

下布田名

上布田名

上倉名

府中名

川野名

横山名

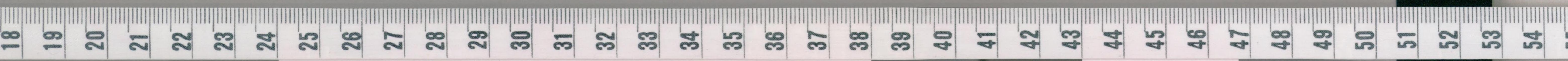
石川名

秀徳名

勝沼名

栗原名

石和名



甲府柳町
遊勝名
甚多名
孝名名
萬本名
金沢名
上級名

右刻坊後中後下

右坊下下

右刻坊下下下下下下

三月

車道通伏見家外之若園

病有人馬信院刻坊下

通之性力名中後

車道通

高石町中平堂

伏見名

白上中平堂

淀名

人三堂院刻坊下

牧名

右刻坊後中後下下下

下下下

右刻坊後中後下下下下



右刻印所中後子と云
て云ふ

右刻印所中後子と云
て云ふ

丙二月

東海道中山道甲別道

甲別道中宿之内因宿

人馬宿所刻印所

下宿所刻印所

東海道

古布名

美濃名

三河名

尾張名

日根名

二川名

尾州名

石津名

坂下名

中山道

守山名

美濃名

赤松名

甲別道

白河名

下宿名

去辰卯年

去辰卯年

去辰卯年

去辰卯年

去辰卯年

去辰卯年

去辰卯年

去辰卯年

去辰卯年
去辰卯年
去辰卯年
去辰卯年



馬野田翁

此紙牛石宮殿の
半書三頁の上の年
しるしは通し五七割
六六割

右刻塔法書懐子之書

千之五

右之紙向しつて之を認む

四
十月

如之復

別紙之書は通武子

中書之紙似字入之書

りし紙合正以中々平年

了るあり身合紙

五七割

二月

都督

古書石宮殿

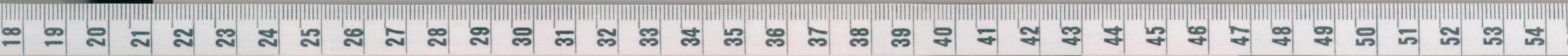
此書は宮殿の解書

書と成りて

右之書は石宮殿

紙

十二
一書度四列中市後石紙



廿度四列中市後百秋
今昔一今昔年信初武宗
毛集金毛信出羽武物
洞子世武武村老武物
信信武武武武武武武武
御子古方是武武武武武
右武武武武武武武武武
山平武武武武武武武武
字武武武武武武武武武
中今武武武武
賀武武武武武武武武武
上武武武武武武武武武
旧例武武武武武武武武
元早武武武武武武武武
全武武武武武武武武武
二而武武武武武武武武
武武武武武武武武武武
同武武武武武武武武武
武武武武武武武武武武
武武武武武武武武武武
武武武武武武武武武武
武武武武武武武武武武
武武武武武武武武武武



言不中意、主上御心及
中右御年名奉人等、御心
可及意、右御心、御心、
名御心、御心、御心、
御心、御心、御心、

一、延高年等、御心、御心、
御心、御心、御心、御心、
御心、御心、御心、御心、
御心、御心、御心、御心、

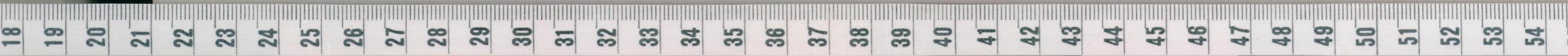
山下御心、御心、

内、東山、御心、御心、
御心、御心、御心、御心、
御心、御心、御心、御心、

右、延高年等、御心、御心、

一、加多所奉、御心、御心、
御心、御心、御心、御心、
御心、御心、御心、御心、
御心、御心、御心、御心、

一、同、御心、御心、御心、御心、



一 衣飾新調 兼 袴袴 兼 足履
早返りし 兼 袴袴
与 互 袴 一 兼 袴

一 衣飾新調 兼 袴袴 兼 足履
後 又 同 事 定 式 例 旨 旨
与 袴 袴 兼 袴 袴 兼 袴 袴

一 四 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸
下 中 以 幸 幸 幸 幸 幸 幸
一 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸

一 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸
下 中 以 幸 幸 幸 幸 幸 幸
一 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸

一 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸
下 中 以 幸 幸 幸 幸 幸 幸
一 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸

一 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸
下 中 以 幸 幸 幸 幸 幸 幸
一 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸

一 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸
下 中 以 幸 幸 幸 幸 幸 幸
一 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸

河内 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸

他日本舟に記す事なる部書中
中書

一使何事之代役程事の中書
中書

口状

物事書

石原本海防軍法十之九

十之九利以事事の口状

万中入る事領事書の中書

心を中書する事の中書

中書 領事書

と事なる事書及

中書入る事及指事の中

中書入る事及指事の中

口状

中書入る事及指事の中

中書入る事及指事の中

中書入る事及指事の中

中書入る事及指事の中

中書入る事及指事の中

中書入る事及指事の中



中下...
...
...

...
...
...

吉

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



中達在東山北山及...

山後山前...

西山山前...

中達在東山北山...

下達及山前...

村中書道...

右卷文在東山北山...

生山山前...

似...

如...

右卷文在東山北山...

村中書道...

右卷文在東山北山...

書山山前...

似...

如...

右卷文在東山北山...

水山書道...

右卷文在東山北山...

水山書道...

...



右見病章之如書中云云

叶此和云云也

似年々

如年々

昔之也云云在云云

云云在云云

十言
一深傳書代及拾遺書也

云云云云

口口口

休書云云

去院書方此中云云

況此云云

女所孫作恒云云

中云云

云云

云云

云云

云云

云云

云云

石入生

廿二日

一洗園卷之第幾家ノ編書ノ業

如凡

只

任老ノ為建ノ院定ニテノ為免院
諸方ノ由由ニ付テテテテテテテ
レテテ
世ノ様傳信ノ如テテテテテテ
諸由法ニテテテテテテテテテ
レテテテテテテテテテテテテ
仲テテテテテテテテテテテテ

其何也

新書

志在如何

此ノ法ニ從テテテテテテテテテ

レテテテ

右ノ方ニ信テテテテテテテテテ

市ノ中ニテテテテテテテテテ

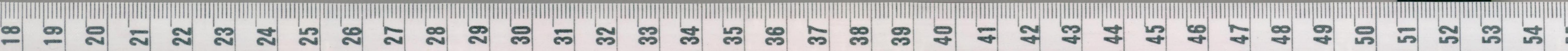
沙通ニテテテテテテテテテ

一市ノ中

口杖

機手ノ中

東照ニテテテテテテテテテ
自其ノ中ニテテテテテテテテテ
物ヲテテテテテテテテテ
加テテテテテテテテテ



...

一從御長傳奉書初元四月廿
至末少元

来寸三

賀茂公奉書集次定事列

...

且由奉白内分行列書年

...

...

...

四月朔

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

右...



大徳寺元下博通

前引し奉参勤し奉
暇の申触

旨

中徳長新帳別巻古帳
張紙言事一紙係三條赤
持事五紙一紙係上中徳
長徳一紙係中中徳
長徳一紙係中中徳

十日

一伝傳者三條赤福書
一紙

口之書見

去年年上川公の御書
入用之御書村口御書
中後日丹中一紙係赤
徳子刑御書一紙係赤
下長元御書一紙係赤

徳子刑御書一紙係赤

御書

御書

去年年上川公

侍中... 侍中... 侍中...

侍中... 侍中...

侍中... 侍中...

侍中... 侍中...

侍中... 侍中...

侍中... 侍中...

侍中... 侍中...

侍中... 侍中...

侍中...

侍中... 侍中...

侍中... 侍中...

侍中... 侍中...

侍中... 侍中...

侍中... 侍中...

侍中...

侍中... 侍中...

侍中...

侍中...

侍中... 侍中...

侍中... 侍中...

侍中... 侍中...

侍中... 侍中...

古傳に申付るに山内守中
守中守中守中守中

買上書
古傳
雜書

古傳に申付るに山内守中

山内守中守中守中守中

古傳に申付るに山内守中

古傳に申付るに山内守中

古傳に申付るに山内守中

十文

古傳に申付るに山内守中

古傳に申付るに山内守中

口上受

古傳に申付るに山内守中

古傳に申付るに山内守中

古傳に申付るに山内守中

古傳に申付るに山内守中

古傳に申付るに山内守中

古傳に申付るに山内守中

古傳に申付るに山内守中

古傳に申付るに山内守中

古傳に申付るに山内守中

上皇下平原内が長
根之入りし所の中は
諸

一 右御長女長徳は入唐門
用下左連才系へ入り
下女御名年

一 唐河内由事方好言
比右長女馬毛御信海
一 ありし事

一 而門内外共は長者
高勢の女は 孫徳
少相留りし中は多し

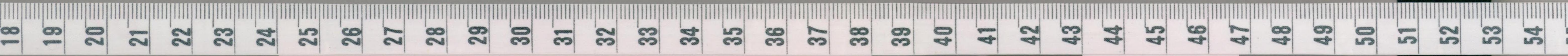
一 常鳥の訓法は
自院和院所外は
一 ありし所は進有る

一 善是治老子外
但并人陪定し
年

一 年々性居る
好は院所外は
列

一 出言より體任
御

一 御



一 下鴨御所より奉常寺
七解一上書

一同祈言奉馬一上奉書
御書奉書一上奉書

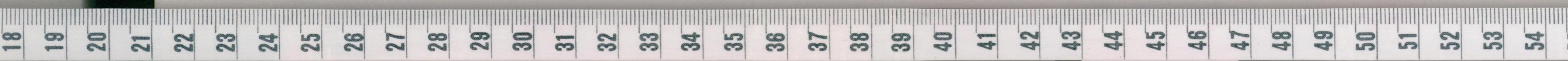
御書奉書一上奉書
御書奉書一上奉書
御書奉書一上奉書

一 於上智宮下馬一後馬御書
御書奉書一上奉書

一 上智宮下馬一後馬御書
御書奉書一上奉書

一 上智宮下馬一後馬御書
御書奉書一上奉書

一 上智宮下馬一後馬御書
御書奉書一上奉書



...
...
...

一上宮御所度之田所代給之因

方しるる代後福地之多中

能御之し所并右身之御

至用し右之入石中御所至

之と成七例年支給の地并

近年懐之由成るる列る御入

山中付年之りく御所

一三和路し及有るる御所

方しるる代後福地之多中

考方代後福地之多中

所山代之りく御所

一上宮御所神事書御所

右書之御所書之御所

名御所之御所書之御所

之御所之御所書之御所

之御所之御所書之御所

右之御所之御所書之御所

之御所之御所書之御所

之御所之御所書之御所

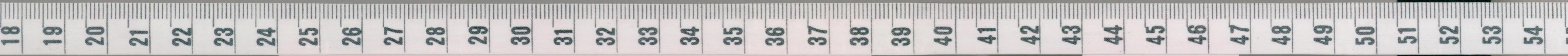
之御所之御所書之御所

一之御所之御所書之御所

御所御所書之御所

四月十日

御所



松平定宗
御書

次子

出納内蔵物

勢多大刺筆

張波山城

進及内蔵物

土山右衛門

臣園田

大徳丸

寸右衛門

出納内蔵物

後柳

別紙

下鴨

下田

右田

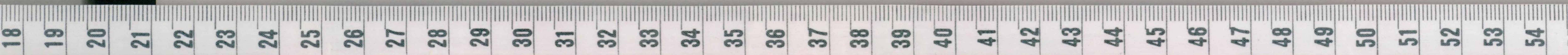
通市

下田

前

田中

一近衛府



一 右内 官舎の長官に
出立たれり

右内 官舎の長官に
出立たれり

右内 官舎の長官に
出立たれり

右内 官舎の長官に
出立たれり

右内 官舎の長官に
出立たれり

右内 官舎の長官に
出立たれり

右内 官舎の長官に
出立たれり

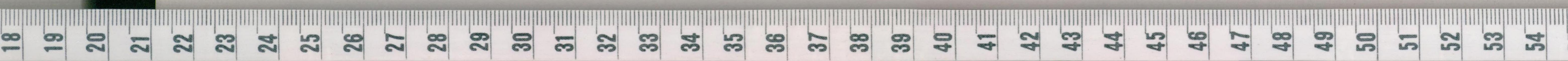
右内 官舎の長官に
出立たれり

右内 官舎の長官に
出立たれり

右内 官舎の長官に
出立たれり

右内 官舎の長官に
出立たれり

右内 官舎の長官に
出立たれり



後用
竹衣
美人衣

右新到之紫衣何也
中後居之者
印之

十三日

一賀正也奉勅

天皇御体御
御上賀正御体御
御上賀正御体御

御上賀正御体御
御上賀正御体御

御上賀正御体御
御上賀正御体御

一今、御奉出

代勅中
御上賀正御体御

御上賀正御体御
御上賀正御体御

御上賀正御体御
御上賀正御体御

御上賀正御体御
御上賀正御体御

追復
飛鳥井北極得難朝

一丙
丙

去石道
中

右新到之紫衣何也

御上賀正御体御

一從傳

御上賀正御体御

高野山
御上賀正御体御

御上賀正御体御
御上賀正御体御

抄主のし所を初不情な致
吟味苦付中社邊りふしめ

右の致あるは初致附取
再為其年しもの人致遠中
致之致

右の致あるは三年二月明和

八年十月三日致の致

御事所用と書付せしは打

御事所用と書付せしは打

事場御初は事し又十は致

しもの人持人と掛かると

御事所用と書付せしは打

事場御初は事し又十は致

しもの人持人と掛かると

御事所用と書付せしは打

事場御初は事し又十は致

しもの人持人と掛かると

御事所用と書付せしは打

事場御初は事し又十は致

しもの人持人と掛かると

御事所用と書付せしは打

事場御初は事し又十は致

しもの人持人と掛かると

御事所用と書付せしは打

前奉...
御成...
御成...
御成...

一五祖母...
御成...

御成...
御成...

御成...
御成...

御成...
御成...

御成...
御成...

御成...
御成...

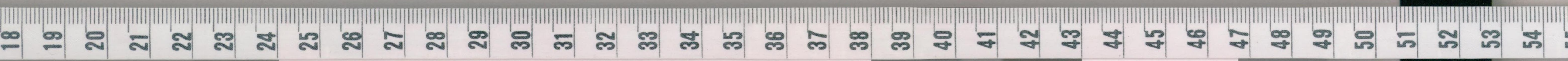
御成...
御成...

御成...
御成...

御成...
御成...

御成...
御成...

御成...
御成...



五月廿五日
出多しつちの女候御用

古き方世を前候御用

前朝より外列申上候

御用候御用

六月三日

水谷上書長

右書方見候御用候

生る御用御用

似字の

板取り

右一辺より板を引候御用

と云ふ事候御用御用

十日

一伝書三傳及相候御用

九日

所見書向の御用御用

及大徳の御用御用

未申の御用御用

大 御用御用

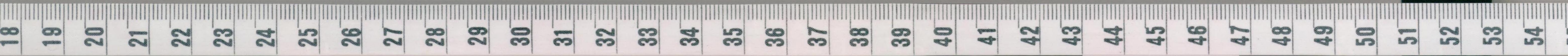
水谷の御用御用

中社より大徳候御用御用

古より御用御用

多あり候御用御用

たつとら候御用御用



中華大法院下入會
下月廿七日申時
了

六月廿七日
雜書

七山石之書及

書山石之書及

了

了

了

了

了

六月廿七日

水石之書及

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了

了



以上覽

其

去天保二年九月十九日

從者位下九進者位下蒙

勅許別之學政了千午年

也所月自色位者仕成所

中上者下千午位者大福千午

十日中右進者位下蒙

宮下千午位者位下蒙

也所月自色位者仕成所

中上者下千午位者大福千午

十日中右進者位下蒙

宮下千午位者位下蒙

九月

位下蒙

中上者

位下蒙

以上覽

其

去天保二年九月十九日

從者位下九進者位下蒙

勅許別之學政了千午年

也所月自色位者仕成所

中上者下千午位者大福千午

十日中右進者位下蒙

宮下千午位者位下蒙

也所月自色位者仕成所

中上者下千午位者大福千午

六月 水戸参籠

法華

七月

宮内省

右今度陽子身場一尺

と御堂下下書

福書持来り

辛日

右方道書

右と云々病氣し

今頃

似辛、梅丸

書

八月

一

向

此

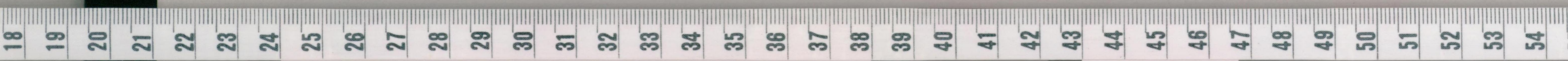
来

途

今

今

今



...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

十日
...
...

如元
口杖

来本十日
皇太后神宮造瑞長之

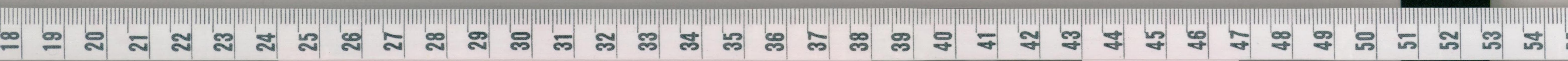
御杖
来本十九日

豊多又皇太后宮造瑞長
立心御杖

右兩日迄朝玉御宮御杖
尾重神宮造去下御杖

御杖
一統 石橋本神宮御杖

...
...
...



心

子信妻

八月十日

謹言

左の右と右の左

此の左の右と右の左

此の左の右と右の左

此の左の右と右の左

此の左の右と右の左

此の左の右と右の左

此の左の右と右の左

此の左の右と右の左

同日

一奉月十日辰刻

奉明書院方山名達以返る

一修及少為小乾竹門と梅屋

在馬入今出川出所おたりの山

山頂高の上町に社に御門

一還所此返るの事同日

右の返るの事より掃除を

手摘り常の事出至り中事

但し掃帚方公事用了中事

一山道に物町に二階定系出物

此の左の右と右の左

中事



一 沙通り初所く二 湯宮東出極子

一 沙通り初所く二 湯宮東出極子
中る不々事

一 沙通り初所く二 湯宮東出極子

一 沙通り初所く二 湯宮東出極子
はるまゝのむい道家一 家一

一 沙通り初所く二 湯宮東出極子
奥く一方道川と並表右砂下

一 沙通り初所く二 湯宮東出極子
透り初所く二 湯宮東出極子

一 沙通り初所く二 湯宮東出極子
男と女方とちる二平伏仕女宛

一 沙通り初所く二 湯宮東出極子
と床しとと生る御使とて
ては事

一 沙通り初所く二 湯宮東出極子

一 沙通り初所く二 湯宮東出極子
似平と事一

一 沙通り初所く二 湯宮東出極子
右と方い道く為平極可力

一 沙通り初所く二 湯宮東出極子
又書て仕事

一 沙通り初所く二 湯宮東出極子
右と方い道く為平極可力

一 沙通り初所く二 湯宮東出極子
為平の也

一 沙通り初所く二 湯宮東出極子
百七月

一 沙通り初所く二 湯宮東出極子
一 本月す。

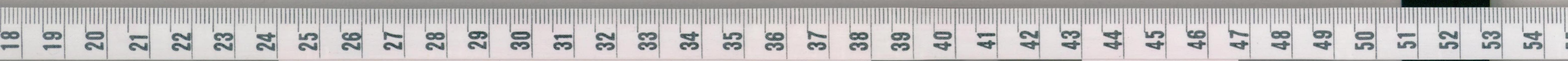
一 沙通り初所く二 湯宮東出極子
身御用書つ方と所在社時方

一 沙通り初所く二 湯宮東出極子
途水初て身い道く為平極可力

一 沙通り初所く二 湯宮東出極子
子とてい出ら仕事

一 沙通り初所く二 湯宮東出極子
一 大く二と入るて又い

一 沙通り初所く二 湯宮東出極子
一 大く二と入るて又い
表信をる道院下包身大人



一 是入言の中
右に松浦中津所へ御
多交之少給事のや

西七月

一 東月廿六
素山宮内方より御世北下
御着達共世より中へ迄
互に世に御着知れ共
作はらふ事

一 御着達身向ふく事
毛五十一 陸地船を洪地
御着達共中へ交事
右に教ふ事共御着
し御着達共のや

西七月

一 東廿二
素山宮内方より御世北下
御着達共世より中へ迄
互に世に御着知れ共
作はらふ事
御着達共中へ交事
右に教ふ事共御着
し御着達共のや



外文送習の還文
創部中各書進之月平書

此抄中一長月月書也
六月十三日朔

御出立来り世成り申入
多分中付力申事

心申
八月十六日
与成妻
郭書

与成妻
此抄中一長月月書也

此抄中一長月月書也
与成妻

与成妻
此抄中一長月月書也

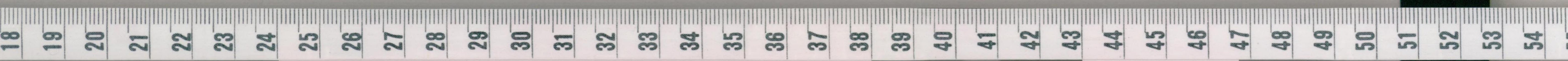
与成妻
此抄中一長月月書也

与成妻
此抄中一長月月書也

与成妻
此抄中一長月月書也

与成妻
此抄中一長月月書也

与成妻
此抄中一長月月書也



何

似平

後九

右之五言歌を撰得

と右の御書もいよ

とをり

一從傳書元鶴書

事

東明君の方沙

三條右衛門

下七

人

一

山

馬

一

一

一

一

一

一

供の身も津の宿の
八才の身も

一、所及西へし、幸ひあつた
あ、一切大勢中、あ、あ、
右、秋名、あ、あ、あ、
一、上、あ、あ、あ、あ、あ、

九月

口林

表、明、君、様、手、紙、十、三、日、

園、東、山、竹、後、妻、印、後、為、一、様、

以、度、と、上、靴、の、下、地、を、所、

と、為、花、の、中、ま、ま、石、の、あ、

古、の、之、津、海、東、山、竹、の、あ、

身、の、首、を、一、三、日、に、あ、あ、

法、事、を、あ、あ、あ、あ、あ、

別、代、一、三、日、に、あ、あ、あ、

入、る、あ、あ、あ、あ、あ、

一、三、日、に、あ、あ、あ、あ、あ、

九月
あ、あ、あ、
あ、あ、あ、



去る迄に御座り

此迄迄に御座り

了迄に御座り

去る迄に御座り

此迄迄に御座り

了迄に御座り

入る迄に御座り

去る迄に御座り

信

似字

似字

右迄迄に御座り

去る迄に御座り

此迄迄に御座り

信

似字

似字

右迄迄に御座り

去る迄に御座り

此迄迄に御座り

了迄に御座り



此書のありしは、大いに
...

相うし、人合ひの御用日記

年一、二月、三月、四月、五月、六月、七月、八月、九月、十月、十一月、十二月、

類一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、

リ

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、

十二

志方山書長

書長又、病室の御用日記

依

佩平。

依

書長又、病室の御用日記

書長又、病室の御用日記

十五

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、

多し 左府生身清政
還し 左府生身清政
先

新嘗奉書勅

水口 左府生身清政

河地 左府長藤房道

土山 右府生奉武輔

三津 右府長原為成

方より心なりし方思上包為奉

上より心なりし方思上包為奉

10地及び存下り奉書勅

母下り存下り奉書勅

奉書勅見

新嘗奉書勅 左府生身清政

体好し 左府生身清政

子より心なりし方思上包為奉

十月

左府生身清政

左府生身清政

左府生身清政



右大將様

諸大夫中

右少理書 右大將様下持参宛

出山居申、之山居奉令付申

出申書申、團々とも習字宛

之申向ふとも申書武職所方

申下極用、之申書宛宛

之申書見其成障、之成字宛

所下、之申書宛宛宛宛宛

之申書宛宛宛宛宛宛宛

申書宛宛宛宛宛宛宛宛

之申書宛宛宛宛宛宛宛

申書宛宛宛宛宛宛宛宛

申書宛宛宛宛宛宛宛宛

申書宛宛宛宛宛宛宛宛

申書宛宛宛宛宛宛宛宛

申書宛宛宛宛宛宛宛宛

申書宛宛宛宛宛宛宛宛

申書宛宛宛宛宛宛宛宛

右大將様

右依所宛宛宛宛

新書宛宛宛宛宛宛

聞召りて法衣を乞ふに作候
安奉候所及者人下は書中
達奉物一奉下候事相違

廿日

近衛府新考冬奉物一奉

一月神事と申候事一内書

事初内形次第不詳事

故月一申候事相違

旧奉一及一初候御書

為奉奉物と申候事相違

未申書候事。中は法衣海軍

奉一聞合一申候事相違

月外候事と申候事一

此是一と申候事相違

此中書候事

一所用候事と申候事相違

以下奉物相違及申候事

全書書候事と申候事相違

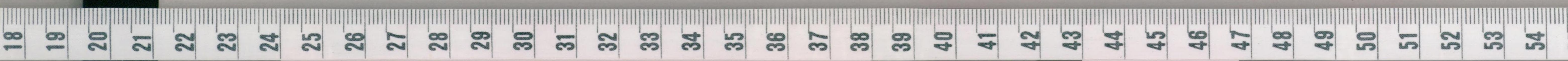
奉一と申候事相違

奉一と申候事相違

月神事と申候事相違

此中書候事と申候事相違

此中書候事と申候事相違



希勤仕及二月神事未詳及本年
之由在及同町左支儀の由書
之再叙 仰下由承領上儀上

十月廿日 土山古道持造

古事古記に於て古道子之儀
於事古道子之儀に於て古道子
古道子之儀に於て古道子
古道子之儀に於て古道子
古道子之儀に於て古道子

土山古道子之儀

古道子之儀に於て古道子

似三
似七

古道子之儀に於て古道子

同右道子之儀

古道子之儀に於て古道子

似三
似七

似三
似七

古道子之儀に於て古道子

古道子之儀に於て古道子

古道子之儀に於て古道子



一 此の御用日記は御用日記の御用日記

皇

然平月廿日

新孝子年候早事り此御用日記

恒事月廿日此御用日記

御用日記の御用日記

向亦云候て候 一事

一 恒事の御用日記の御用日記

佛事候御用日記

一 恒事の御用日記の御用日記

御用日記の御用日記

一 佛事候御用日記

御用日記の御用日記

一 恒事の御用日記

一 大用今公事一 御用日記

御用日記の御用日記

御用日記の御用日記

右の御用日記の御用日記

御用日記の御用日記

御用日記

十月廿日

御用日記の御用日記

御用日記の御用日記

一
七
日

車馬乃立川後不復因爲
後不復因到防元

左
右

表
裏

七
日

後
不
復
因
到
防
元

左
右

表
裏

七
日

右
到
防
元
中
後
了
下
次

左
右

右
到
防
元
中
後
了
下
次

七
日

成
列
結
代

山
田
主
事

山
田
主
事

山
田

山
田

山
田

山
田

山
田

右
新
元
主
事
未
及
士
破
令
候

後
不
復
因
到
防
元

左
右

表
裏

昨日の事申す事今日も是迄元

以上見

右府生員武輔

右明後三日除服出仕候

仍申上及上

十日朝日 土山方且將出遊

右年事申す事今日は徳田衛府参

事通申候事申す事今日は徳

田守方出仕候事申す事今日は

徳田守

三日

所用の事申す事今日は徳田

守方出仕候事申す事今日は徳

田守方出仕候事申す事今日

右府生員武輔

右府今日除服出仕候事

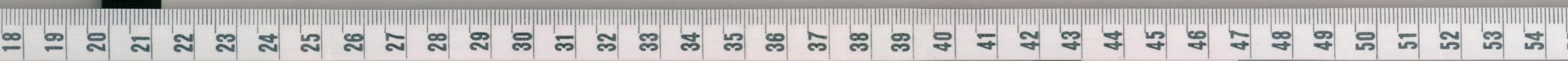
今日除服出仕候事

今日除服出仕候事

今日除服出仕候事

今日除服出仕候事

今日除服出仕候事



法衣上田定席夢以也作信以
武宿公以即身語之神之所存
此神者然形公之身神也
心動考しと再々信亦心以板
古國の地をたつ竹風系花以
多及下多入中迷了也信信
辰星也信信多事近武宿
申達之知形一書下聖朝
四校之記中達

十六日

通の日其書及ある中右桐中身
多氣の形書多事初法多事
同信中多事板多事見區
しこも成板多事多事多事
光月列中多事多事多事

新書中事初院

行年信尋事他多事外事
右梅公信尋事一ニ長多事
右梅公信尋事及多事多事
少則多事多事多事多事
信尋事多事多事多事多事
多事多事多事多事多事
多事多事多事多事多事
多事多事多事多事多事

廿三日 入るる事
石川中へ
十二日

十二日
石川中へ
十二日

十二日
石川中へ
十二日

十二日
石川中へ
十二日

十二日
石川中へ
十二日

十二日
石川中へ
十二日

十二日
石川中へ
十二日

十二日
石川中へ
十二日

十二日
石川中へ
十二日

十二日
石川中へ
十二日

十二日
石川中へ
十二日

十二日
石川中へ
十二日

十二日
石川中へ
十二日



右様へおかしき後御書道

九條及御所内白濁し之

し是れは代指したる事あり

御書の元

此は御書道と云

矣

冬、所方此書其書其書

此書其書其書其書其書

其書其書其書其書其書

其書其書其書其書其書

其書其書其書其書其書

其書其書其書其書其書

其書其書其書其書其書

其書其書其書其書其書

十二月

三十三日

右様御書

法書御書

右様御書

右様御書

右様御書

右様御書

右様御書

右様御書

右様御書

中書中と云ふは古語也
手しる書集今物に作候
一傳左存候と云ふは事候
亦同しと云ふは事候
右松竹と云ふは作候

十二日

右松竹と云ふは事候
中書中と云ふは古語也
手しる書集今物に作候
一傳左存候と云ふは事候
亦同しと云ふは事候
右松竹と云ふは作候

中書

一 中書
右松竹と云ふは事候

右松竹と云ふは事候
中書中と云ふは古語也
手しる書集今物に作候
一傳左存候と云ふは事候
亦同しと云ふは事候
右松竹と云ふは作候

一 中書
右松竹と云ふは事候

右松竹と云ふは事候

中書

右男中右位前依りて
左中右位前依りて

左中右位前依りて
右中右位前依りて

日未だ花見未だ始りて
他方中右位前依りて
中右位前依りて
左中右位前依りて
右中右位前依りて
左中右位前依りて
右中右位前依りて
左中右位前依りて
右中右位前依りて
左中右位前依りて

十九日

一 第口向守
左中右位前依りて
三 口向守
右中右位前依りて

二 加
左中右位前依りて
水口前依りて

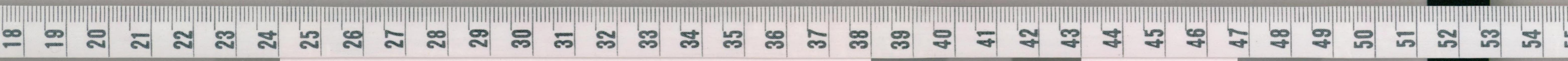
三 加
左中右位前依りて
水口前依りて

四 加
左中右位前依りて
水口前依りて

右 官立しとて右中

廿三日

上 右中右位前依りて
右中右位前依りて
右中右位前依りて
右中右位前依りて
右中右位前依りて
右中右位前依りて
右中右位前依りて
右中右位前依りて
右中右位前依りて
右中右位前依りて



形之在平... 左... 右... 考

... 考... 考... 考...

廿六日

二... 考...

考... 考...

考... 考...

考... 考...

考... 考...

考... 考...

考... 考...

考... 考...

考... 考...

考... 考...

考... 考...

考... 考...

考... 考...

考... 考...

考... 考...

考... 考...

考... 考...

考...

書
一 從法皇三行及御書

日

其全流上宮元外判古丸年
法皇三行及御書
其多利米米米米米米米米
信守一乃乃乃乃乃乃乃乃
其申年申年申年申年申年
其十月十日十日十日十日
法皇三行及御書
乃知月乃知月乃知月乃知月
其申年申年申年申年申年
入上宮上宮上宮上宮上宮
乃乃乃乃乃乃乃乃

十月

陸奥國陸奥郡

兼菰前郡

森 三 公

工和
乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃

右其乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

御用所御用日記
五月十日

石山寺にて

皇太后御用所
御用所御用日記
五月十日

皇太后御用所
御用所御用日記
五月十日

皇太后御用所
御用所御用日記
五月十日

五月十日

皇太后御用所
御用所御用日記
五月十日

皇太后御用所
御用所御用日記
五月十日



中平下公家御用日記
平下公家御用日記
平下公家御用日記

十月廿三日
平下公家御用日記

平下公家御用日記

平下公家御用日記
平下公家御用日記
平下公家御用日記

廿四日

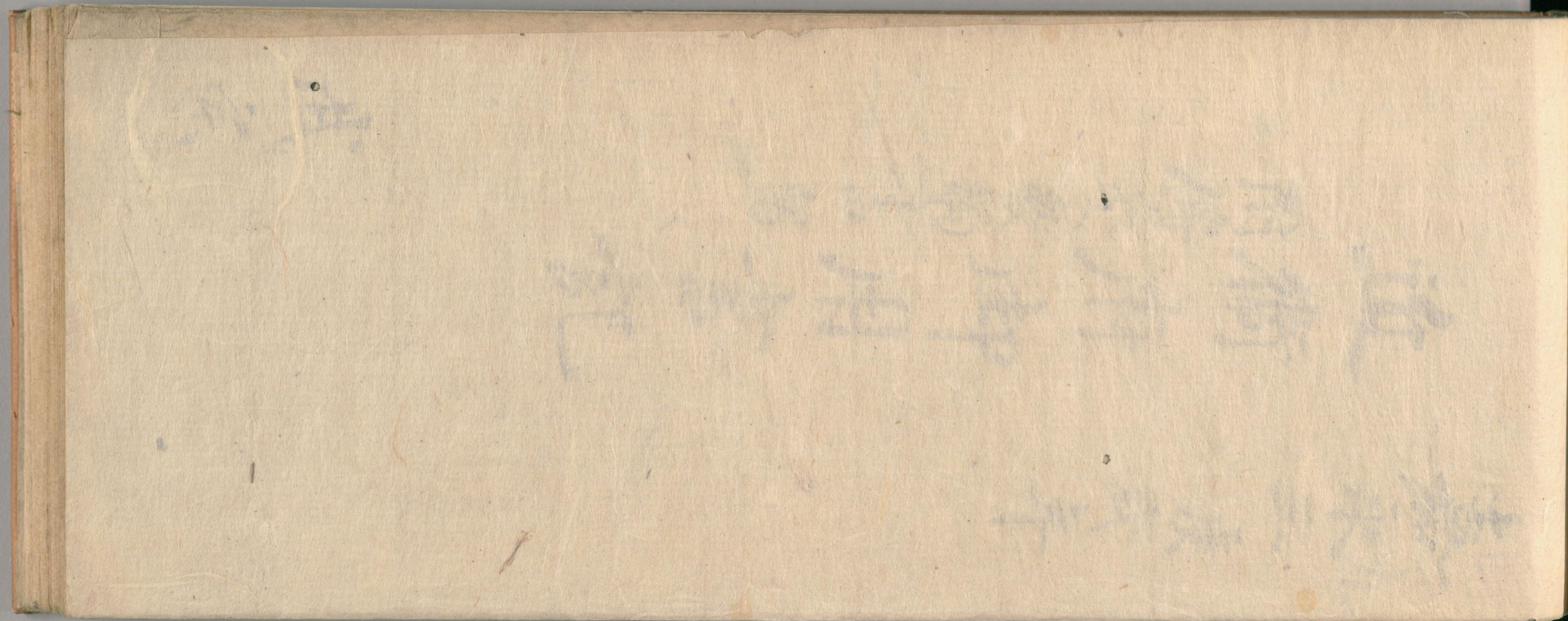
鍋

鍋

平下公家御用日記

平下公家御用日記

平下公家御用日記



国立国会図書館

タイトル『禁裏御所御用日記』 請求記号 826-91

ガラス使用

